

学科 学年	S 1	科目 分類	数学A I [数A I] Mathematics A I	講義 必修	20前期 2履修単位	学習教育 目標 B	担当	遠藤良樹 ENDOH Yoshi ki
概 要	自然科学系の学生のみならず現在では社会科学の分野まで数学の重要性が認識されている。特に高専の数学をこれから学んでいく上で初等的な関数の定義と性質を理解することは重要である。この授業では2次関数から始まり、べき関数、分数関数、無理関数、逆関数を取り扱い、さらに初等超越関数である指数関数、対数関数を取り扱っていく。最後に三角関数につながる三角比について取り扱い、これを三角形の図形の問題へ応用していく。							
科目目標 (到達目標)	2次関数ではその標準形を求めることができ、グラフを描くことができる。べき関数、分数関数、無理関数ではグラフの平行移動の概念を理解し、グラフを描くことができる。指数関数、対数関数では指数法則の拡張を理解し、指数関数のグラフが描けること。対数関数ではその性質を理解し、グラフが描けること。三角比の概念を理解し、三角形の図形問題へ応用できること。							
教科書 器材等	新訂基礎数学、基礎数学問題集（大日本図書）、新版・高専の数学1問題集第2版（森北出版）、補充問題プリント							
評価の基準と 方法	定期試験の点数合計を60%、1学年一斉試験（夏季休業明け）20%、授業への姿勢を10%、問題の解法演習を5%とし、偏差値37.183334以上を合格とする。							
関連科目	中学までの数学							
授業計画								
	参観	(授業は原則として教員が自由に参加できますが、参観欄に×印がある回は参観できません。)						
第1回		ガイダンス						
第2回		関数とグラフ						
第3回		関数とグラフ						
第4回		2次関数のグラフ						
第5回		2次関数の最大・最小						
第6回		2次関数と2次方程式						
第7回		2次関数と2次不等式						
第8回		練習問題1-A, B						
第9回		べき関数						
第10回		分数関数						
第11回		無理関数						
第12回		逆関数						
第13回		練習問題2-A, B						
第14回		関数のグラフと直線の共有点						
第15回	×	定期試験(前期中間試験)						
第16回		試験解説						
第17回		指数関数と対数関数 累乗根						
第18回		指数の拡張						
第19回		指数関数						
第20回		練習問題1-A, B						
第21回		対数						
第22回		底の変換公式・対数関数						
第23回		対数方程式、不等式・常用対数						
第24回		練習問題2-A, B						
第25回		三角関数						
第26回		鋭角の三角比						
第27回		鈍角の三角比						
第28回		三角比の相互関係・正弦定理						
第29回		余弦定理と三角形の面積						
第30回	×	練習問題1-A, B						
第30回	×	定期試験(前期末試験)						
オフィス アワー	原則、平日放課後(15:00~17:00)に質問を受けることができる。							
授業アンケート への対応	課題の分量が適当でないという意見があるが、分量そのものは適当と思われるので、課題の発表から提出(演習時間)までの期間を考慮する。							
備 考	本授業に関する質問はメールでも受け付けている。 endoh@numazu-ct.ac.jp また過去の試験問題の情報は http://user.numazu-ct.ac.jp/~endoh/math/problem.htm に掲載してある。その他の情報はBbを参照せよ。							
更新履歴	20080422更新							